

3人そろって自治体学校へ行ってきました

憲法をいかし、自治の力で、暮らしと地域の再生を



7月22日から24日まで金沢市で開催された第47回自治体学校。小泉流「構造改革」の嵐が吹く中でいのち、人権、平和を大切に自治体をつくっていくか、全国から自治体職員、議員、研究者など約1200人が集まりました。

な理論を学びました。これは今後の活動に生かします。また夜は、県内他市議員とも交流し、カラオケも楽しみました。3人が歌ったのは、「忘れな草をあなたに」「大空と大地の中で」「琵琶湖周航の歌」(年の若い順)などでした。

党市議団は都合がつかなかった上野事務局長をのぞく3議員が「地域内分権をどう進めるか」「政府の自治体構造改革の全体像をつかみ、その対立軸をどう形成するか」「人権を保障する地域福祉の先進的な事例を学ぶ」等の目的意識を持って参加してきました。

新潟県から参加した長岡市職労の多田さんと津南町総務課の小野塚さんは、一日目の全体会で震災復興や自治体の自律をめぐる「自治の息吹」を報告し、参加者に感動を与えました。また京大の岡田知弘教授や大阪市立大学の加茂利男教授など自治体問題研究者が自治体をめぐる動きを深く分析し、これからの「住民本位の自治体づくり」に役立つ理論を展開しました。

自治体学校の3日間で、議員団は先進事例や

視察受け入れ 「寺泊町の将来を考える会」の一行5名が、「議会と自治体誌を見た。新上越市の地域協議会について学びたい。」と来越しました。杉本敏宏議員団長が、地域自治組織の説明をし、合併協議の経過などを含めて党の取り組みを話しました。地域自治区が設置されていて、そこに地域協議会がある。しかも協議会委員は選任投票を経て選任されるという上越方式は、朝日新聞などの報道されたこともあり、今全国的に注目されてきています。



4人がそれぞれの持ち場で

党支部と連携 樋口良子議員は地元の日本共産党五智支部と連携プレーで住民要求実現で活動しています。先日は、「五智公園の松

が、松くい虫のために立ち枯れし、今にも倒れそうになっている(写真)。早く伐採を」との要望をうけ、市役所と交渉し伐採してもらいました。

地元行事に参加 地元吉川区の特養ホーム「ほほ笑・よしかわの里」

の「ほほえみまつり」や勝穂地域づくり会議の「勝穂フェスティバル」に参加して、交流したのは橋爪法一議員。初めてグランドゴルフを楽しみ上機嫌でした。でも、まだ運動不足のようです。

歓迎集会 水害対策でフル回転した上野公悦事務局長。今度は日本共産党への入党者が相次ぐ頸城区での歓迎集会成功のために奔走しました。

総選挙勝利をめざす決起集会

日時: 8月10日(水)午後7時半から
会場: 上越市厚生南会館

日本共産党の木島日出夫前衆院議員(比例選挙予定候補)を迎えての決起集会となります。緊迫した国会情勢を知り、必勝体制をつくるため、ぜひ参加を。

日本共産党上越市議団ニュース

7	2005年8月7日
連絡先	杉本敏宏 524-3787 (東本町5)
	樋口良子 544-6802 (中門前3)
	橋爪法一 548-3628 (吉川区代石)
事務局長	上野公悦 530-2203 (頸城区中柳町)

災害現場で防災を学びます...地学研究者などの協力を得て、吉川区上川谷の県道崩落現場周辺の地質調査、現地説明などを行ないます。9日午後1時半から、現地で。参加希望者は地元党支部または議員団までご連絡ください。